

令和3年度使用
中学校用教科用図書
採択参考資料

数 学

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	数学 701・801・901
4 大日本	数学 702・802・902
11 学図	数学 703・803・903
17 教出	数学 704・804・904
61 啓林館	数学 705・805・905
104 数研	数学 706・707・806・807・906・907
116 日文	数学 708・808・908

数 学

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 4 大日本 11 学図 17 教出 61 啓林館 104 数研 116 日文

2 調査研究の観点

- (1) 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 心身の発達段階に適応した数学的活動を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 各領域の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 用語、式、図、表、グラフ等の表記や表現が適切であり、学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)(4)
 - ① 総ページ数
 - ② 領域別のページ構成
 - ③ 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ
 - ④ デジタルコンテンツを使って学習できる箇所
- (2) 数学的活動に関すること…………… 観点(1)(2)
 - ① 問題発見・解決の過程について
 - ② 数学的な見方・考え方について
 - ③ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について
- (3) 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること…………… 観点(2)
- (4) 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること…………… 観点(3)
- (5) 表記や表現に関すること…………… 観点(4)
 - ① 式、図、言葉等の数学的な表現について
 - ② ユニバーサルデザインに関する配慮について

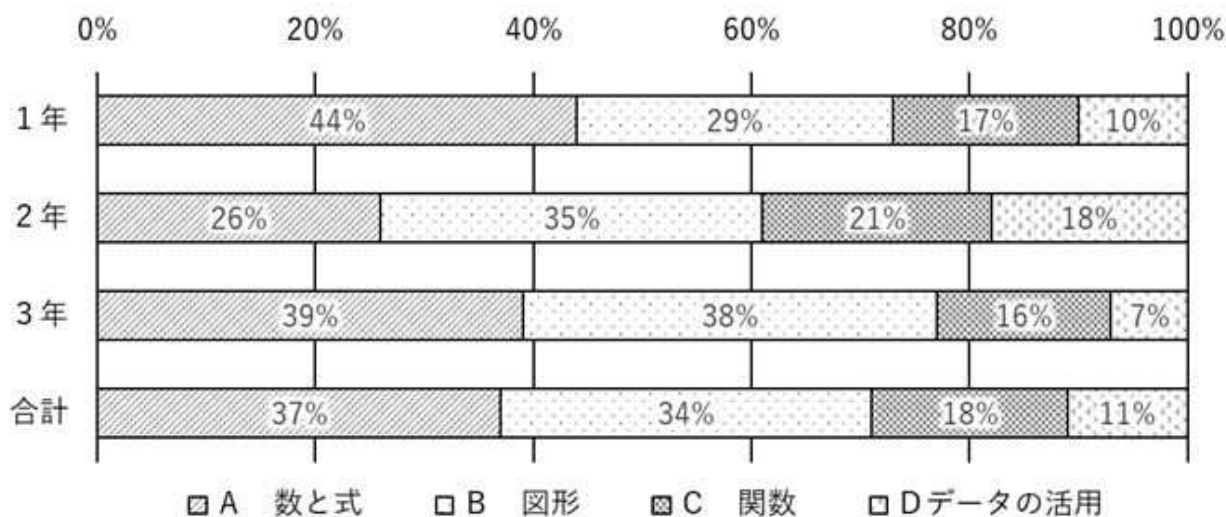
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
312	250	284	846

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	104	68	40	24	236
2年	48	64	38	34	184
3年	84	82	34	14	214
合計	236	214	112	72	634



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	14	12	14	40
発展的な内容を扱うページ	1.5	3.5	4.5	9.5

(4) デジタルコンテンツを使って学習できる箇所

	1年	2年	3年	合計
「Dマーク」が設定されている箇所	25	16	11	52

※巻頭にQRコードがある。

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各章の始めにある「章とびら」では、その章の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながる「Q考えてみよう・調べてみよう」や「?疑問」が設定されている。
- 「深い学び」のページでは、「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→振り返る→深める」の過程が示されている。
- 自分の言葉でまとめたり、話し合ったりする「学びをふり返ろう」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 本文中の数学的な見方・考え方や、それにつながる吹き出しに「虫めがねマーク」が付けられている箇所がある。
- 巻末に「大切にしたい見方・考え方」が設定されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 「例」と似た問題に、「◆」が付けられている。
- 巻末に「補充の問題」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章にある「章とびら」や「節の導入」では、日常生活の場面がイラストで示されている。
- 各章の終わりにある「章の問題B」の「活用の問題」では、日常生活や他教科の学習内容に関わる題材が設定されている。
- 「学びをひろげよう」では、数学と実社会や職業とのつながりに関わる題材が設定されている。
- 「深い学びのページ」では、日常生活や社会の事象に関わる題材が設定されている。
- 巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 第1学年では、0章「算数から数学へ」が設定されている。
- 第1、2学年では、前の学年と当該学年、第3学年では中学校3年間の内容を確認できる「学びのつながり」が設定されている。
- 「目次」の「前の学習」では、前年度までに学習した内容との関連が示されている。
- デジタルコンテンツにつながる「Dマーク」が設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートづくり方」が設定されており、第1学年は0章、第2、3学年は1章の後に「数学マイノート」が設定されている。また、巻末にある「数学の自由研究」には「レポートにまとめよう」が設定されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

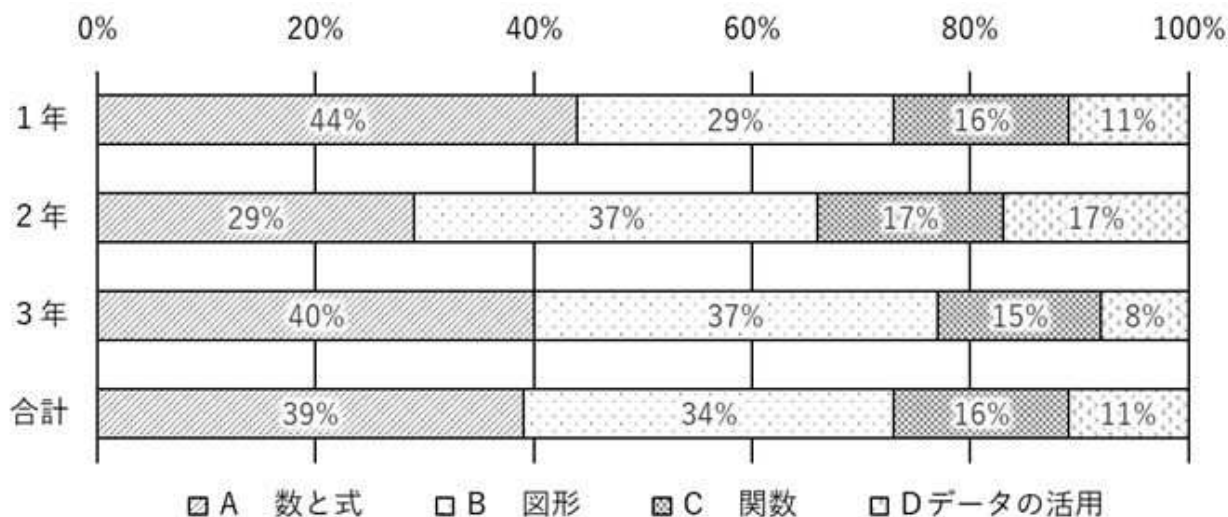
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
324	250	302	876

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	112	74	40	26	252
2年	54	70	32	32	188
3年	90	82	34	18	224
合計	256	226	106	76	664



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	12	10	16	38
発展的な内容を扱うページ	2.5	4	11.25	17.75

(4) デジタルコンテンツを使って学習できる箇所

	1年	2年	3年	合計
「WEBマーク」が設定されている箇所	18	11	20	49

※巻頭にQRコードがある。

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 巻頭の「数学の世界へようこそ」では、数学の学習の進め方が示されている。
- 各章の始めでは、その章の学習内容に関連した問題場面等が示されており、学習場面に応じて「判断しよう」「伝えよう」が設定されている。
- 各章の終わりに、「□章の学習を深める」が設定されている。
- 「～の利用」という節では、「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 巻頭の「数学の世界へようこそ」に、数学的な見方・考え方が示されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の終わりにある「□章をふり返ろう」では評価の観点を示されている。
- 巻末に「補充問題」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章の始めでは、既習事項とのつながりが書かれており、写真やイラストを使った紙面となっている。
- 学習をひろげたり、活用したりする問題として、「学びにプラス」が設定されている。
- 各章や巻末の「MATHFUL」や「活用・探究」では、日常生活や社会、他教科の学習に関わる題材が設定されている。
- 仕事の中の数学を紹介した「社会にリンク」が設定されている。
- 第1、3学年の巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 第1学年の「小学校算数のふり返り」、第2学年の「1年の復習」、第3学年の「1・2年の復習」では、前年度までに学習した内容が示されている。
- 「もくじ」の「これまでに学んだこと」では、前年度までに学習した内容との関連が示されている。
- 本文中の「思い出そう」で既習事項が示されている。
- デジタルコンテンツにつながる「WEBマーク」が設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートの作り方」が設定されている。また、「レポートを書こう」が第1学年では2箇所、第2、3学年では1箇所示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

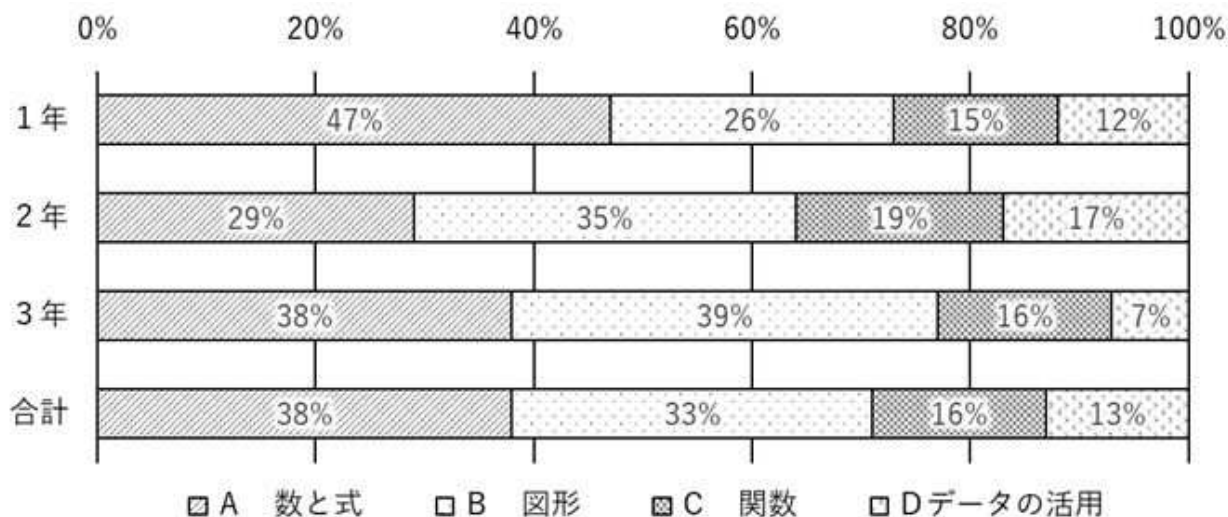
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
316	270	310	896

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	115	65	37	29	246
2年	57	69	37	35	198
3年	87	89	36	17	229
合計	259	223	110	81	673



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	7	7	10	24
発展的な内容を扱うページ	5.25	8.5	9.75	23.5

(4) デジタルコンテンツを使って学習できる箇所

	1年	2年	3年	合計
QRコードが設定されている箇所	14	11	17	42

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各章の始めでは、その章の学習内容に関連した問題場面等が示され、キャラクターの対話が提示されている。
- 「～の利用」という節では、「利用場面」が示された後、「問題を見つける」「予想する」「解決する」「新たな問題を見つける」などの流れが設定されている。
- 各章の終わりに、「深めよう」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 本文中の右欄に、「見方・考え方」が設定されている箇所がある。
- 巻末に、「見方・考え方をまとめよう」が設定されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の前には「ふりかえり」として、その章に関連した既習内容が示されている。
- 巻末に「1年の復習」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各学年の始めにある「数学の力」では、数学を実際の仕事に役立てている人のコラムが掲載されている。
- 各章の始めでは、身近な題材が扱われ、写真やイラストを使った紙面となっている。
- 各章の終わりにある「役立つ数学」では、その章で学習した内容に関連した日常生活や社会の題材が示されている。
- 本文中の「Tea Break」や巻末の「疑問を考えよう・数学の歴史の話」では、読み物教材や数学史に関する教材が示されている。
- 巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 各学年の領域ごとにある「ふりかえり」では、前年度までに学習した内容が示されている。
- 第3学年では、高校数学との連携として「高校へのかけ橋」が設定されている。
- 各章の終わりに、「できるようになったこと」「さらに学んでみたいこと」が設定されており、自分の言葉を記入する欄がある。
- デジタルコンテンツにつながるQRコードが設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートを使い方」が設定されている。また、「表現する力を身につけよう」では、「レポートの作成」「レポート例」が示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

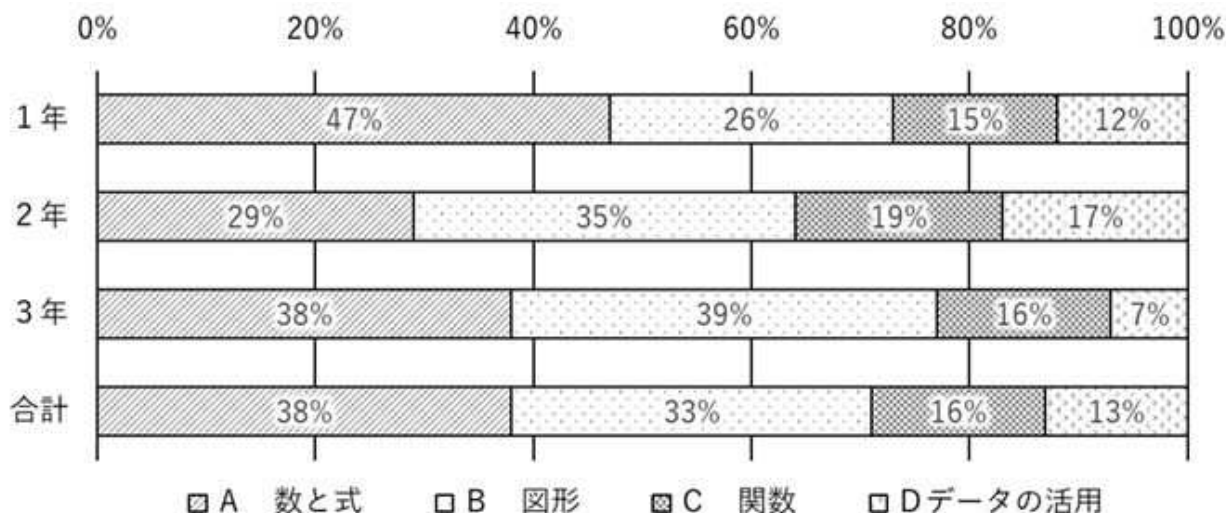
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
330	278	330	938

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	118	72	36	27	253
2年	54	80	34	39	207
3年	90	86	32	17	225
合計	262	238	102	83	685



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	16	14	18	48
発展的な内容を扱うページ	3.5	4	10.25	17.75

(4) デジタルコンテンツを使って学習できる箇所

	1年	2年	3年	合計
「まなびリンク」が設定されている箇所	13	7	9	29

※巻頭にQRコードがある。

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各節の始めでは、その節の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながる「話しあおう」や「説明しよう」が設定されている。
- 「～の利用」という節では「友達の考えを知ろう」「みんなで話し合おう」「深めよう」が設定されている。
- 深い学びにつながる問題には「？」が示されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 巻頭に、「数学的な考え方」が設定されている。
- 本文中の右欄に、「数学的な考え方」が設定されている箇所がある。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の始めには「～を学習する前に」があり、既習事項の確認があり、各章の終わりには「学習のまとめ」として章で学習した内容が示されている。
- 巻末に「補充問題」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章の始めにある「章のとびら」では、社会や生活、先端テクノロジーなどに関する話題が扱われている。
- 章の導入課題「Let's Try」では、身の回りや社会にある事象が扱われ、写真やイラストを使った紙面となっている。
- 各章の終わりや巻末に、「学んだことを活用しよう」が設定されている。
- 「数学の広場」では、日常生活や実社会に関連する話題や職業とのつながり、他教科の学習内容に関わる題材が取り上げられている。
- 巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 巻末にある「学びのマップ」では、前年度までに学習した内容が示されている。
- 第3学年では、高校数学との連携として「ひろがる数学」が設定されている。
- 各章の始めにある「～を学習する前に」、本文中の「もどって確認」では、それぞれ既習事項が示されている。
- デジタルコンテンツにつながる「まなびリンク」が設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 第1学年は2章、第2、3学年は1章の後に「工夫してノートを書こう」が設定されている。また、第1学年は8章、第2、3学年は7章の後に「レポートを書こう」が設定されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

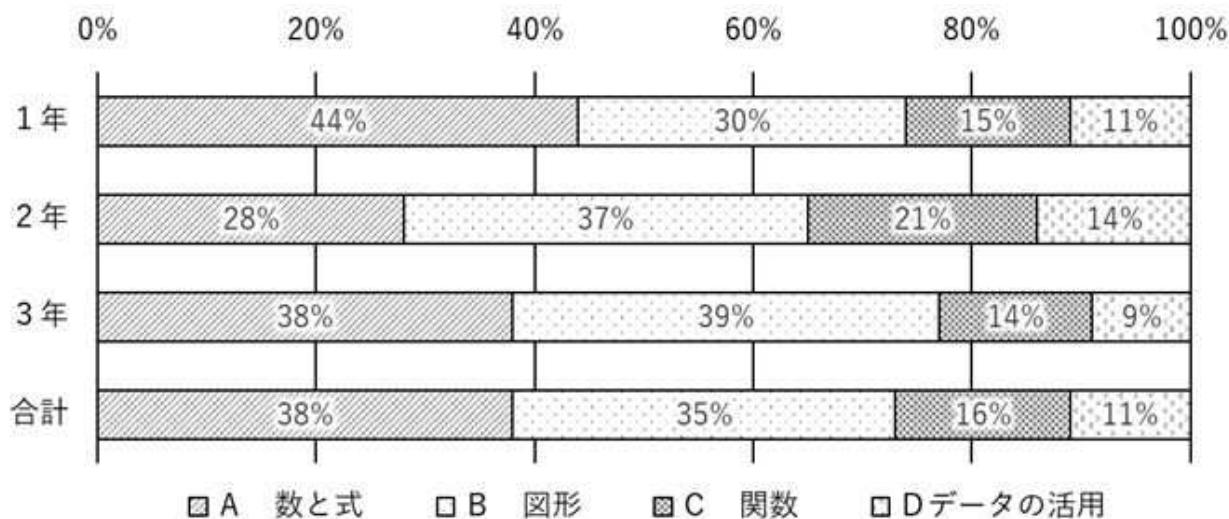
(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

	1年	2年	3年	合計
みんなで学ぼう編	268	210	242	720
自分から学ぼう編	68	54	78	200
合計	336	264	320	920

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	102	68	34	26	230
2年	48	64	36	26	174
3年	80	82	30	16	208
合計	230	214	100	68	612

※『自分から学ぼう編』は含まない。



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	58	44	54	156
発展的な内容を扱うページ	3	4	10	17

(4) デジタルコンテンツを使って学習できる箇所

	1年	2年	3年	合計
QRコードが設定されている箇所	61	44	59	164

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各節の始めにある「節とびら」では、その節の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながる「話しあおう」「説明しよう」が設定されている。
- 「～の利用」という節では、「節とびら」で「利用場面」が示された後、「ステップ1 場面の状況を整理し、問題を設定しよう」「ステップ2 見通しを立てて、問題を解決しよう」「ステップ3 問題をひろげたり、深めたりしてみよう」が設定されている。
- 学習場面に応じて「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 本文中のページ下部に、数学的な見方・考え方がマーク付きで示されている箇所がある。
- 『自分から学ぼう編』の「学びのあしあと」では、『みんなで学ぼう編』の各章で働かせた数学的な見方・考え方の1つが示されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の終わりにある「学びをたしかめよう」では、関連するページが示されている。
- 巻末に「もっと練習しよう」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章の始めにある「学習のとびら」では、キャラクターの会話等を通して、身近な場面から数学の問題を見いだすまでの過程が示されている。
- 数学が活用されている場面を紹介する「数学ライブラリー」が設定されている。
- 『自分から学ぼう編』の「学びをいかそう」に、他教科に関わる題材が設定されている。
- 『自分から学ぼう編』の「学びをいかそう」に、「社会見学にいこう」が設定されている。
- 第1学年『自分から学ぼう編』の「算数をふりかえろう」では、「速さ・道のり・時間」「割合」「小数・分数」について、キャラクターの会話等を通して学習するページが設定されている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 新たな内容を学習する箇所にある「ふりかえり」では、既習事項が示されている。
- 授業内で利用する『みんなで学ぼう編』と授業外で利用できる『自分から学ぼう編』がある。
- 『自分から学ぼう編』の「学びのあしあと」では、『みんなで学ぼう編』や『自分から学ぼう編』で学習した内容のチェック欄が設定されている。
- デジタルコンテンツにつながるQRコードが設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 『みんなで学ぼう編』の巻頭に「ノートをくふうして、学習に役立てよう」が設定されている。また、『自分から学ぼう編』の「学びをいかそう」には「レポート例」が示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

1 概括的な調査研究

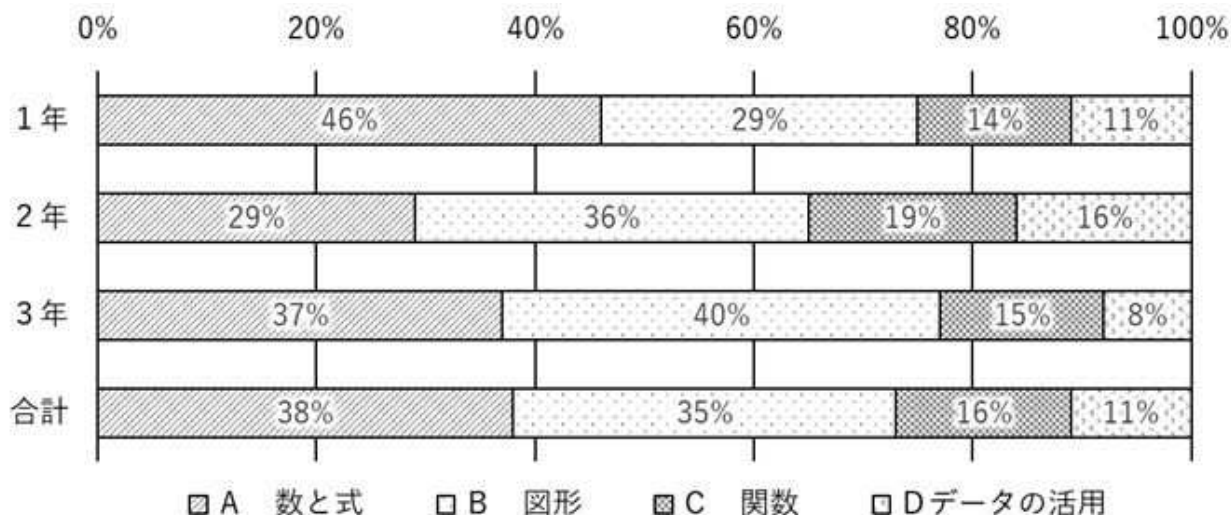
(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

	1年	2年	3年	合計
本冊	312	254	312	878
別冊『探究ノート』	50	50	58	158
合計	362	304	370	1036

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	108	68	34	25	235
2年	54	66	36	29	185
3年	82	88	32	17	219
合計	244	222	102	71	639

※別冊『探究ノート』は含まない。



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	55	52	73	180
発展的な内容を扱うページ	17	14	24	55

(4) デジタルコンテンツを使って学習できる箇所

	1年	2年	3年	合計
「リンクマーク」が設定されている箇所	63	50	51	164

※巻頭にQRコードがある。

※表の数は、「補充」「資料」「イメージ」「考察」の「リンクマーク」の合計。

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各章の始めの問題場面では、身の回りの題材が取り上げられている。
- 「Q」や「TRY」で示された問いに対する学習活動に関連して、「説明しましょう」「調べましょう」が設定されている箇所がある。
- 学習した内容を深める問題として「やってみよう」「調べよう」などが設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 数学的な見方や考え方を働かせる場面では、キャラクターによる会話等を通して、学習が進められていく形式になっている。
- 別冊『探究ノート』では、本冊で学習した内容から生まれる新たな課題を対話形式で示されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の学習の前に「ふりかえり」が設定されており、その章に関連する既習事項が示されている。
- 巻末に「ぐんぐんのぼそう チャレンジ編」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章の始めでは、身近な題材が扱われ、写真やイラストを使った紙面となっている。
- 別冊『探究ノート』は、本冊に関連した内容で構成されており、日常生活の中にある数学に着目した題材や発展的な内容が設定されている。
- 学習内容に関連した身近な話題を扱った「数学旅行」が設定されている。
- 他教科の学習内容に関わる題材が取り上げられている箇所がある。
- 第1、3学年の巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 各章の始めにある「ふりかえり」では、前年度までに学習した内容を示されている。
- 既習事項の確認ができるように本文中に示されている。
- 本冊の最終ページに、「学びの自己評価」が設定されている。
- デジタルコンテンツにつながる「補充」「資料」「イメージ」「考察」の4種類の「リンクマーク」が設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートの作り方」「レポートを書こう」が設定されている。また、別冊『探究ノート』の巻末には、学習に使えるワークシートが付けられている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

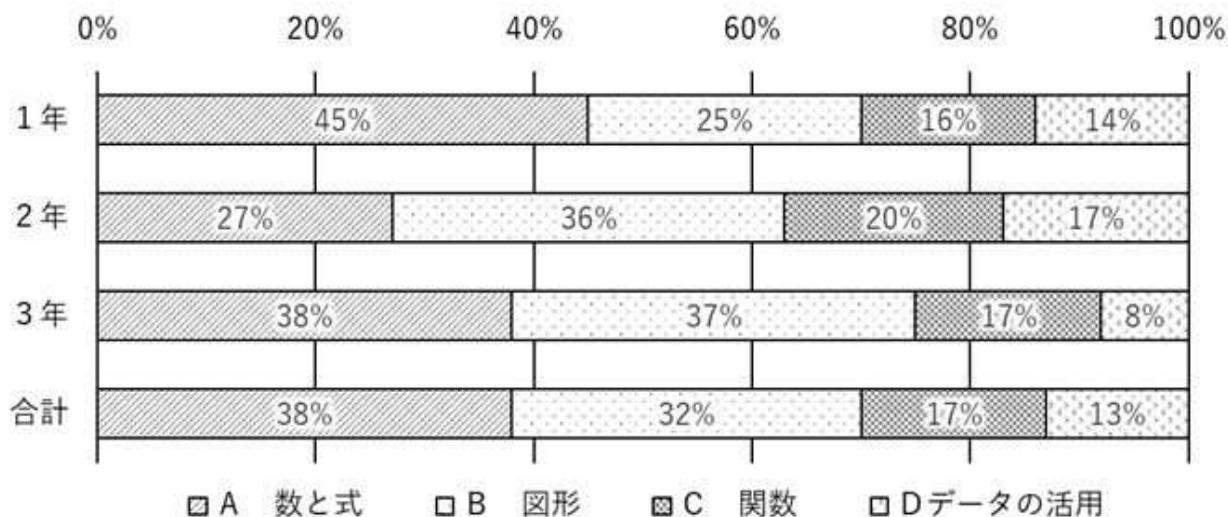
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
324	254	296	874

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	110	60	40	34	244
2年	50	66	36	30	182
3年	78	76	34	16	204
合計	238	202	110	80	630



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	10	14	30	54
発展的な内容を扱うページ	3.25	2	6.5	11.75

(4) デジタルコンテンツを使って学習できる箇所

	1年	2年	3年	合計
「WEBマーク」が設定されている箇所	35	23	18	76

※巻頭にQRコードがある。

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 学習場面に応じて「深めよう」「考えよう」「話し合おう」「説明しよう」が設定されている。
- 「学び合おう」では「見通しをもとう」「考えよう」「話し合おう」「ふり返ろう」「深めよう」という学習の流れが示されている。
- 巻末には「学び合おう」で使える「対話シート」がある。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 巻頭の「数学的な見方・考え方を身につけよう！」では、前年度までの学習の中で数学的な見方・考え方を働かせた場面の例が示されている。
- 本文中の右欄に、「大切な見方・考え方」で示されている箇所がある。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の始めには、「次の章を学ぶ前に」が設定されており、その章に関連する既習事項が示されている。
- 巻末に「補充問題」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 巻頭にある「数学を見つけよう」では、日常生活や社会の中に見られる数学が紹介されている。
- 各章の始めでは、身近な題材が扱われ、キャラクターの吹き出しによって問題発見の過程を示している。
- 身の回りにある数学をコラムや課題学習として、各章の「数学のたんけん」、巻末の「暮らしと数学」「数学研究室」が設定されている。
- 巻末に「数学を仕事に生かす」が設定されている。
- 第1、3学年の巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 各章の始めにある「次の章を学ぶ前に」では、前年度までに学習した内容が示されている。
- 第1学年では、小学校との連携として「算数の確かめ」「算数の確かめ(問題編)」が設定されている。
- 本文中の「確かめ」で既習事項が示されている。
- デジタルコンテンツにつながる「WEBマーク」が設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートのかふう」が設定されている。また、「数学マイトライ」には「数学レポートをかこう」が示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

